

地域通貨 (TR) 運営委員会第 1 回会議

1. 開催日時 平成 23 年 7 月 22 日 (金) 午後 1 時より 2 時 30 分
2. 場所 甘楽トラスト本部にて
3. 出席者 高橋敏男副委員長・高橋忠宏委員・小川哲郎委員・高間一幸委員
時田由紀監査・高間弘文事務局長・林健太郎事務局長代行 (7 名)
4. 欠席者 宮澤展彦委員長：新潟原発視察のため
秋山昌律委員：仕事のローテーションのため
小山涉一委員：店の都合のため
富田顕嗣委員：北海道へ出張のため (4 名)

5. 議題

- ① 会の趣旨説明
- ② 出席者の自己紹介
- ③ 各委員の役割 (担当部会)
 - ・ 組織部会：高橋忠宏
 - ・ 企画部会：小川哲郎
 - ・ 広報部会：秋山昌律
 - ・ 倫理部会：高間一幸
 - ・ 渉外部会：富田顕嗣
 - ・ 推進部会：小山涉一
- ④ 質疑応答
 - ・ 経費などについて：NPO 甘楽トラストの活動費より捻出
 - ・ 地域通貨の講習会などへの出席：随時検討する
 - ・ コンシェルジュ養成講座の企画書：企画部会へ委ねる
- ⑤ 会の開催ローテーション
 - ・ 原則として月 1 回の開催を基準とする
 - ・ 2 年後には TR を実施する
- ⑥ 次回のテーマ
 - ・ 規約の自身について
- ⑦ 開催日時・場所
 - ・ 平成 23 年 8 月 26 日 (金) 午後 1 時より
生涯学習センターにて

6. 所見

- ・・・宮澤委員長の急な出張の為、開催の挨拶を高橋敏男副委員長が代わって務めた。そして、当運営委員会の活動が NPO 甘楽トラストの今後の方向性を決めるべくターニングポイントであることが出席者全員で認知できた。

地域通貨 (TR : トラスト・リング) とは

地域通貨

私達が生活している社会を振り返ると、グループ単位で生活し、そこにはグループ全体で助け合い、支えあい、お互いが必要とするものを物々交換したり、サービスと物を交換したりと、通貨というものの存在はない生活をしていました。

ところが、価値観の違いなどから共通の尺度が必要となり、現在の法定通貨 (国家通貨: 円など) が誕生しました。

本来、通貨というものは、人々が生きていく上で必要な物を交換する為の共通単位でしかなかったはずなのに、いつのまにか、貯蓄をしたり、金利・利子といった通貨単体で収益をあげる制度が出来上がってしまっています。通貨本来の役割は、貯蓄などで停滞するものではなく、その社会のなかで流通し続ける事により、その社会が活性化され、人間交流も活発となり、人に必要とされている自分を実感できる、感謝の心をカタチにする1つの表現手段の筈です。

地域通貨とは

- ☆ 決まった地域内でのみ使用する事が出来るもの。
- ☆ 価値が決められない様々なボランティア活動や、能力、才能に基準単位を付け、双方の意思疎通により交換することで地域通貨を循環させること。
- ☆ 利子が付く事はなく、逆に有効期限を設けるなどして、使用しないと価値が下がる仕組み。その事により地域内で流通し、地域、コミュニティが活性化されていく。

地域通貨 (TR : トラスティ・リング) とは

TR (トラスティ・リング)

地域通貨であるTR (トラスティ・リング) とは、NPO甘楽トラストの会員の輪の中で利用可能です。

①、人から人へのお礼の気持ちで

善意で行う、個人間のサービスの交換……買い物をお願い、犬の散歩をお願い、〇〇を教えて、などのちょっとした困りごとのお礼にお使い下さい。サービスに対してのTR単価は当事者間で決めてください。

②、商店、商店街で

TR協賛店では、TRで買い物が出来ます。利用可能なお店には、TRのステッカーが貼られています。

③、イベント会場で

NPO甘楽トラスト主催のイベントや、その他連携活動イベントでもTRの利用が可能です。

地域通貨TR (トラスティ・リング)

☆ TRの単位……「1カンラ=100円」とします。

☆ 「1カンラ」と「10カンラ」の2種類のスタンプ紙幣を発行します。

☆ 地域通貨TRに賛同・参加される方は、ワンセット(50カンラ)のスタンプ紙幣にて、サービスの対価を支払います。

(50カンラ……1カンラ×20枚+10カンラ×3枚=5000円)

地域通貨 (TR : トラスティ・リング) とは

TR (トラスティ・リング) コンシェルジュ

委託者 (〇〇してほしい・・・)

- 買い物してきて欲しい
- 犬を散歩に連れて行って欲しい
- 新鮮野菜を手にいれたい
- 市役所に連れて行って欲しい
- 庭の掃除をして欲しい
- ちょっとした家の修理をして欲しい
- 1~2時間子供の相手をして欲しい
- マッサージをして欲しい
- パソコンの使い方がわからない



受託者 (△△ができる・・・)

- 車の運転が出来るので役にたてれば..
- 動物と遊ぶのが好きなので散歩ができる
- 掃除が得意なので任せて
- 手先が器用なので修理できます
- 保育園で働いているから子供と遊べる
- マッサージが得意です
- 不動産関係の仕事をしてるので土地の相談は任せて
- パソコン操作は得意分野です

TRコンシェルジュとは、委託者と受託者の間を取り持つ、いわゆるマッチングする役割を担っています。

委託者の様々な希望と受託者の様々な出来ることを組み合わせ、感謝の気持ちを含めて報酬対価としてTRを使用してもらう。

また、委託者の中だけでも組み合わせは可能です。

例えば、犬を散歩に連れて行って欲しい委託者と、新鮮野菜を手にいれたいと思っている委託者同士で、散歩に連れて行った対価として、新鮮野菜をいただく。

TRの利用にはなりません、これも立派なコンシェルジュの役割です。

この様に、委託者・受託者の状況を良く把握し、ストレスの生じないマッチングをする事。

委託者・受託者を増やして行く事がTRコンシェルジュの役目です。

このTRコンシェルジュを増やして行く事が、地域通貨TRの普及にも繋がります。